

平成23年度 病虫害発生予察情報

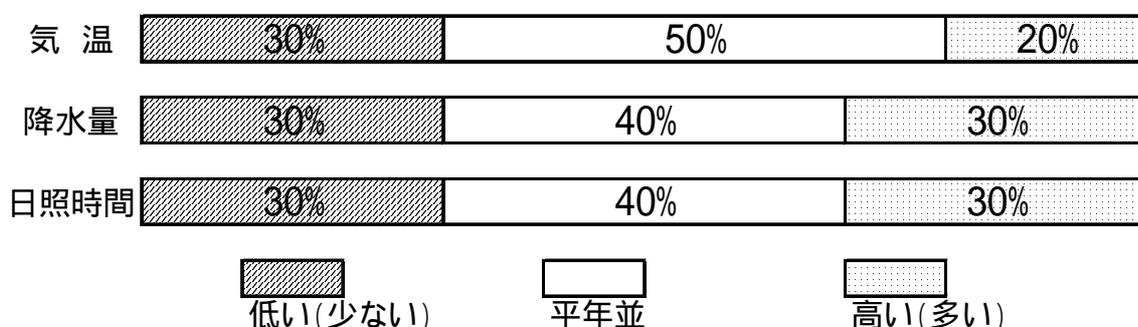
発生予報第9号(10月)

平成23年10月 3日
島 根 県

予報の概要

区分	農作物名	病虫害名	予想発生量
果樹	カキ	カメムシ類	やや少ない
野菜	キャベツ	黒腐病	やや少ない
		菌核病	平年並
	アブラナ科野菜	コナガ	平年並
		ハスモンヨトウ	平年並

中国地方1か月予報(10月1日～10月30日・広島地方気象台9月30日発表)
< 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%) >



A. 果樹

1) カキ

(1) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 やや少ない

予報の根拠

9月5半旬から10月1半旬までの予察灯(出雲市)でのカメムシ類の誘殺数は21頭(平年34.9頭)とやや少ない。

9月下旬の巡回調査での累積被害果率は0.8%(平年6.5%)とやや少ない。

10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

B. 野菜

1) キャベツ

(1) 黒腐病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 やや少ない

予報の根拠

9月30日現在、巡回調査圃場において発生は確認されておらず(平年発生圃場率11.8%)、全般の発生量は平年に比べてやや少ない。

ハスモンヨトウ等食葉性害虫の発生は平年並みと予想されている。

向こう1か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

9月30日現在、巡回調査圃場において発生は確認されておらず（平年発生圃場率0.7%）、全般の発生量はほぼ平年並みである。

向こう1か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

2) アブラナ科野菜

(1) コナガ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

9月下旬の調査では、アブラナ科野菜での卵・幼虫・蛹の寄生株率は3.0%（平年6.0%）で発生量は平年並みである。

10月の気象は、本種の発生を助長する要因とはならない。

(2) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

フェロモントラップによる9月初めから現在までの雄成虫累積誘殺数は、出雲市で平年の48.3%（今年：374頭、平年：775.0頭）、益田市で平年の80.1%（今年：878頭、平年：1095.9頭）と平年並み～やや少ない。また、9月第5、6半旬に雄成虫の飛来が見られた。これに由来する幼虫の発生は10月第1、2半旬頃と推定される。

9月下旬の調査では、アブラナ科野菜での卵塊・幼虫発生圃場率は50.0%（平年49.8%）、寄生株率は7.0%（平年8.6%）で発生量はほぼ平年並みである

10月の気象は、本種の発生を助長する要因とはならない。

島根県病害虫防除所

(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫グループ)

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/nogyogijutsu/byougai tyuu/>